



## 人助けをする、正しい銀行—ジュビリー銀行 ([www.jubileebank.kr](http://www.jubileebank.kr))

ジュビリー銀行 理事 チョ・ヨンミン

### 1. ジュビリー銀行の設立背景と活動方針

大韓民国における自殺率は、OECD加盟国中12年連続で一位です。中でも、金銭問題（借金）は自殺の動機となる原因の二割を占めています。このような残酷な現状を変えるべく、2015年8月27日に設立されたのがジュビリー銀行です（共同頭取：イ・ジェミョン城南市長、韓国開発研究院ユ・ジョンイル教授）。

イ・ミョンバクおよびパク・クネ政権によって家を買うために借金をする人が増え、学業に励むほど貧しくなる「青年失信」（失業＋信用不良）の時代に突入しました。国民は金を借りてはまた返すという悪循環に陥っています。

その結果、家計負債は2017年第1四半期末には1359兆ウォンに上り、家計負債が延滞することによって多くの人が借金に苦しめられ、限界まで追い詰められつつあります。

金融機関は借金せよと世間を煽り、返済できない延滞者には手のひらを返したように冷たくなります。金融機関は不良資産を処理するため、延滞債権を貸金業者に安値で売っているのです。

こうして不良債権が循環することによって、延滞者は非人間的な取り立てに苛まれ、生きる希望を失ってしまいます。ジュビリー銀行は市民の後援金で不良債権を買い取り、債務者を積極的に救済し借金を帳消しにするなど、債務者が新しいスタートを切れるよう支援します。人助けをする正しい銀行、それがジュビリー銀行です。

# 翻轉貧困人生

2017

台・日・韓

貧窮與債務

國際研討會

談債務擴散效應及協助資源整合

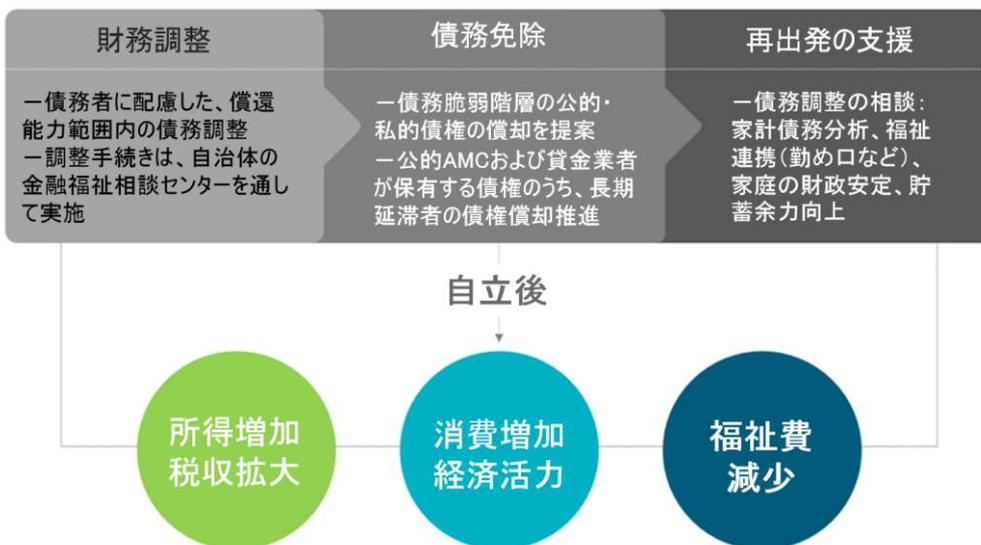
10/13(金)~10/14(土)

主辦：社團法人財團法人慶成基金會、社團法人財團法人慶成基金會、社團法人財團法人慶成基金會

協辦：社團法人財團法人慶成基金會、社團法人財團法人慶成基金會

## 2. ジュビリー銀行の主要業務

### 債務脆弱階層に対する社会的救済策の提案



www.jubileebank.kr

## 主要活動

### [金融福祉相談]



一人相談を通して債権者と債務金額の把握、債務調整制度の案内、福祉連携サービスを提供し、債務者の再出発をサポートします。

一全国に点在する金融福祉相談センター間のネットワーク強化を図り、各自治体における金融福祉相談センターの設立を支援します。

### [ローリング・ジュビリー]



一長期延滞された債権が安値で売られている現実を世間に知らせるため、不良債権を買い入れ、償却し、借金免除のお知らせを発送します。

一自治体、企業、宗教団体などと協力して借金免除キャンペーンを実施します。

一不良債権の管理および金融制度の補完を目的とした活動を展開します。

### [債務者教育]



一健全な経済生活と債務調整制度を通して債務問題を解決できるよう、教育やグループ活動を行います。

# 翻轉貧困人生

2017  
台・日・韓  
貧窮與債務  
國際研討會

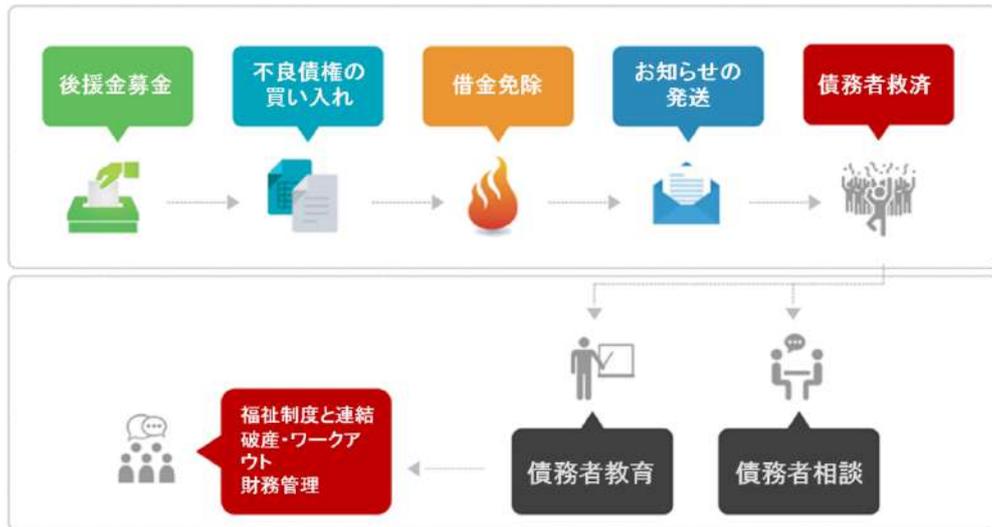
談債務擴散效應及協助資源整合

10/13(六)~10/14(日)

主辦：台灣：財團法人台灣國際經濟發展基金會 協辦：社團法人日韓會 日本：全日清ラ・生活再建財団 韓國：韓國債務者協會 | 贊助：社團法人台北經濟社會發展協會 台灣國際經濟發展財團理事會

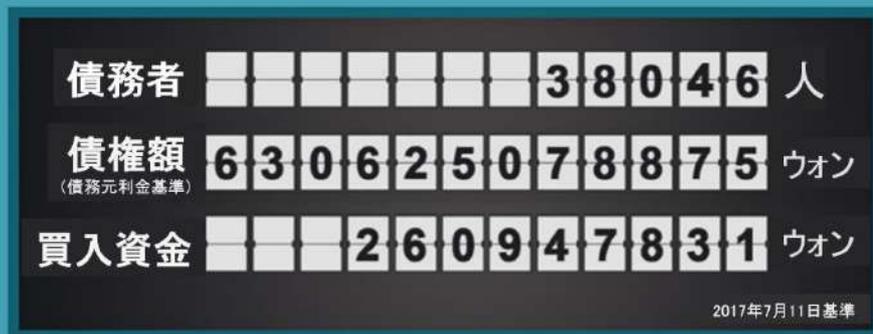
台灣大學公共衛生學院101教室  
台北市中正區基隆路7號

## プロセス



www.jubileebank.kr

## 債務者の再出発を支援する市民運動「借金免除プロジェクト」



「韓国のローリング・ジュビリー借金免除プロジェクトで、  
3万8046人の借金約6306億2507万ウォンが免除になりました」

### 3. ジュビリー銀行のこれまでの成果

2017年8月31日（木）に国会で開かれた「共に民主党 不良債権償却報告大会」



において、金融公企業および第2金融圏保有の消滅時効完成債権（総額27兆1699億ウォン、141万9626人）の償却が報告されました。<sup>1</sup>

ジュビリー銀行のこれまでの実績（6306億ウォン、3万8046人）と比べて、規模がだいぶ大きいことが分かります。ジュビリー銀行が「借金免除運動」をリードし、金融公企業や金融機関の不良債権償却に力を尽くしてきた結果と言えるでしょう。

第6回および第7回東アジア金融被害者交流集会に出席したジェ・ユンギョン氏（ジュビリー銀行前代表）が国会議員になり、「ローリング・ジュビリー運動」を主導しています。もしかすると、ジュビリー銀行が役目を終える日もそう遠くないのかもしれない。

ジュビリー銀行では全国の金融福祉相談センターのネットワークを推進し、各地域におけるセンターの設立を支援しています。これまでソウル市、京畿道、全羅南道、城南市、全州市、ソウルの恩平区・西大門区、光州の光山区にセンターが設立されています。

ジュビリー銀行はこれらのセンターと共に金融福祉相談を実施することで、債務者の再出発をサポートします。

ジュビリー銀行は、2015年11月から2016年7月までの九ヶ月間で755件の金融福祉相談を実施しました。相談内容を分析した結果、三人に一人が公的債務調整を必要とし、七人中六人が非正規雇用による雇用不安を抱えており、二人に一人が100万ウォン未満の収入で暮らす脆弱階層であることが分かりました。福祉を必要とする人たちの存在が死角になり、ローンで何とか生計を立てているのが現状です。

中でも驚くのは、多くの債務者が生活保護費を借金の返済に充てているという事実です。福祉受給者による相談件数は125件でしたが、そのうち51件は生活保護受給者によるものでした。福祉受給費を元利金に償還せざるをえない「税

<sup>1</sup> ○ 全ての金融機関の消滅時効完成債権：

債務者50万人以上、約12兆8852億ウォン（2017年6月末現在）

○ 消滅時効が一回以上延長されている公企業の特種債権：

債務者112万人以上、約54兆1274億ウォン（2017年3月末現在）

※ 特種債権全体（60兆8157億ウォン）のうち約89%が消滅時効延長

○ 金融公企業償却推進額21兆7085億ウォン、123万1000人

○ 第2金融圏（銀行を含まない）償却5兆4614億ウォン、18万8626人に恩恵

○ 償却総額27兆1699億ウォン、141万9626人に恩恵



金（公益）→金融費用（私益）」の悪循環が見て取れ、貧しい人ほど金融の悪質な罠から抜け出すことが難しくなっています。

このような現実を変えるべく、ジュビリー銀行では債務者に配慮した政策や法制度の改善を促し、これらの変化は近年金融当局によって積極的に受け入れられつつあります。

代表的な成果の一つに、貸付業のテレビコマーシャル全面禁止があります。ジュビリー銀行はジェ・ユンギョン議員と共に貸付業者の広告禁止法を推進し、第19代国会で放送法上の放送のみならずインターネット・マルチメディアの放送においても貸付業者の広告を全面的に禁止するよう呼びかけました（時間帯別に規制）。金融当局は、年内に貸付業のテレビコマーシャルを全面禁止にする旨を発表しています。

また、貸付業の利息を20%で制限する動きもあります。大韓民国の貸付業の利息は現在27.9%で、世界でもトップです。以前と比べれば低くなってはいるものの、一般市民には大きな負担となる高率です。

貸付業利息20%制限法は昨年ジェ・ユンギョン議員によって発議され、現在では与野党にかかわらず様々な国会議員が貸付業法の改正案を発議しています。貸付業の利息が20%で制限される日はそう遠くないと予想されます。

他にも、時効債権の復活禁止、債権履歴制度の導入、貸付業のローンにおける連帯保証禁止など、「債権」より「人権」を重視する政策が議論されています。

#### 4. ジュビリー銀行の課題と展望

ジュビリー銀行の目標は、一日でも早く「廃業」することです。それだけ切実に、借金が人の命を奪う恐ろしい現実を変えたいと願っています。政権の交代と共にいくつかの変化がありましたが、ジュビリー銀行にはまだまだ多くの課題が残されています。

八大公企業の特種債権だけでも総額は60兆ウォンを超え、そのうち89%は消滅時効が一回以上延長されています。この度償却された21兆ウォンは、15年以上経った債権でした。また、金融機関が保有する特種債権の総額は20兆ウォンに上りますが、このうち40%の約8兆2000億ウォンは消滅時効が一回以上延長されています。債務者ではなく、債権者の方で道徳的な緩みがないよう、さらなる努力が必要だと言えるでしょう。

ジュビリー銀行と金融福祉相談センターの尽力により、金融福祉の公共性が拡大され、金融消費者保護に貢献してきました。が、これまでは事前予防より



事後管理に重きが置かれてきました。今後は家計負債の不良債権化を最大限防ぐべく、家計財務コンサルティング機関として生まれ変わらなければなりません。そのためには、金融福祉相談および債務者の人権保障に関する法制度の改善が重要な課題です。

債権者中心の庶民金融支援、そして救済より債権回収に重きが置かれている庶民金融振興院のサービス体系を改め、福祉サービスの公共性を拡大し福祉連携サービスを実現することが求められています。金融福祉相談センターおよび庶民金融振興院のあり方と役割を見直さなければなりません。

私が尊敬するシン・ヨンボク教授は、死刑を求刑されたときに未返済の借金はなかったか考えたと言います。生活苦の末に心中したソンパ区の母娘三人は、最後の家賃を残してこの世を去りました。借金というものが持つ重さを考えずにはられません。

借金は返さなければなりません。が、人間の尊厳を踏みにじり、人権を侵してまで返済を強要するものではないはずです。「金」より大事なものは、「人」だからです。